



小松川平井地区委員会だより



発行：江戸川区青少年育成小松川平井地区委員会 編集：広報部



ごあいさつ

小松川平井地区委員会 委員長 阿部 雄一

日頃より地区委員会に多大なるご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。永いコロナ禍期間も明け、今までの反動の様に、あらゆる行事も始まりました。改めて世の中が活況を呈している感があります。

1月のマラソン大会では、参加された多くの人の笑顔に接し、力を与えられました。凧揚げ大会も過密にならない様に注意深く計画しましたが、予想を上回る申込みにうれしい悲鳴を上げました。しかしながら、当地区委員会の誇りでもある『ナイトウォーク』は、昨年3月に開催する予定で準備を整えて参りましたが、荒天予報により中止の決定に至りましたことは本当に残念でした。

連町主催の『小松川千本桜まつり』は今迄にないほどの人出で賑わい、改めて地区の人々に喜びを与えています。地区委員会としても、連町とより一層の協力を深めてゆき、地区の青少年育成活動だけにとどまらず、地区の大人にもたくさんの喜びを与えられる存在でありたいと思います。

夏季パトロール合同出発式 令和5年7月20日（木）



夏休みの前日、JR平井駅北口広場にて、小松川平井地区小中学校PTA主催による夏季パトロール合同出発式が行われました。

平井西小学校PTA千葉会長の司会、平井小学校PTA岩宮会長の出発合図のもと、児童保護者を合わせた参加者162名がそれぞれの地域に向かい、パトロールを実施しました。



第45回ふるさとまつり 令和5年10月15日（日）



あいにくの悪天候のために屋外イベントは中止となり、式典・屋内行事のみの開催となりました。また、式典に先立ち、花笠音頭民芸会様の華やかな踊りが行われました。

体育館では、青少年委員によるポッチャ、スポーツ推進委員によるドッチビー&試合等が行われ、歓声が飛び交いました。

学校に泊まろう
 ー防災体験、災害時に何をすべきか学ぼうー
 令和5年11月12日(日)



今年度は、日帰りのイベントとして実施しました。
 小松川小学校校庭では、午前には水消火器体験及び煙体験、小松川区民館ではAED体験及び防災DVD視聴をし、火起こしの体験も実施しました。
 お昼には、参加児童自らがハイゼックス・カレーを調理しました。
 午後は小松川探検隊（旧文書庫～小松川神社～都電碑～逆井の渡し～小松川防災倉庫での防災倉庫の見学～専門職大学～ゆきやなぎ公園～細道～小松川小学校）、普段は体験できない所を見学し、それぞれの場所での貴重な話を聞くことができました。



環境地区活動（自転車盗難ゼロ作戦）
 令和5年11月26日(日)



あいにくの小雨でしたが、JR平井駅北口広場及び周辺にて小松川中学校及び小松川第二中学校の生徒60人が、自転車盗難の啓発活動としてティッシュ配り等を行い、防犯を呼び掛けました。
 1台でも自転車盗難が少なくなることを願っております。



スポーツ体験－スナッグゴルフをやってみよう－
令和5年12月10日（日）



旧小松川第一中学校体育館にて、スナッグゴルフ体験を行いました。
当日は、東京都スナッグゴルフ協会 理事長・今野一哉プロのご指導を受け、小松川平井在
住の小学1～6年生50人が体験しました。



第51回小松川平井マラソン大会
令和6年1月7日（日）

東京都のモデル事業の1つとして選ばれました！

荒川河川敷にて、小松川平井マラソン大会が行われました。

天候は晴れ、気温9℃、南からの微風と1月にしては暖かく、絶好のマラソン日和、小学校低学年
からシニアまで、老若男女500名を超えるランナーがそれぞれの目標に向かって走り切りました。

日頃の練習の成果が表れてベストタイムを更新できた者ゴール前で抜かれて悔し涙を流した者、
ランナーの数だけ感動があったと思われれます。

本大会をきっかけに、将来のオリンピック選手が出ることを願ってやみません。

ランナーの他にも保護者、応援、学校関係者等々の多くの参加者が会場を盛り上げ、総勢1,000
名強の関係者がひとつになることができ、盛会のうちに終了しました。



凧作り・凧揚げ大会
令和6年1月21日(日)



平井小学校体育館にて、江戸川凧作りを行いました。

あいにくの雨天で揚げることはできませんでしたが、参加者113名(凧製作62基)が、江戸川凧の愛好会の蒲倉講師の指導の元、立派な江戸川凧を作ることができました。



日帰り研修
—日本最古の学校に訪れよう—
令和6年3月3日(日)



日本文化遺産史跡足利学校(栃木県足利市)を訪れました。足利学校は、日本最古の学校として知られており、その遺跡は大正10年に国の史跡に指定されました。創建について、歴史が明らかになるのは室町時代ですが、様々な説があり、奈良時代、平安時代、鎌倉時代のどれが正しい説であるかは現在も解明されていません。

その後、ココファーム・ワイナリー(栃木県足利市)に向かい、青空の広がる雄大な葡萄畑でワインのテイスティングを楽しみました。

さらに、道の駅みかも(栃木県栃木市)に寄り、地域の特産品・物産品を愛でて、大満足のうちに帰路につきました。



訃報

元青少年育成小松川地区委員会委員長 鈴木 安明 氏(享年83歳)

病氣療養中のところ、令和6年1月16日にご逝去されました。

ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。